

# News Release



本資料は 2012 年 11 月 13 日に BASF 本社(ドイツ)で発表されたプレスリリースの和訳です。

## BASF、オハイオ州イリリアにバッテリー材料の製造プラントを開設

2012 年 11 月 16 日

- リチウムイオン電池で使用される、BASF として最初の、先進的な正極材料の商業規模製造設備
- 世界各国のバッテリー・メーカー向けの、機能性材料とソリューションのリーディング・プロバイダーとなるための取り組みにおける大きなステップ

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ本部  
藤本朋子/麦谷英理子  
TEL: 03-3796-4879 / 4865  
FAX: 03-3796-4111  
tomoko.fujimoto@basf.com  
eriko.mugitani@basf.com

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、2012 年 11 月 13 日、米国オハイオ州イリリアに、正極材料の新たな製造プラントを開設しました。イリリアのプラントで製造される材料は、高度なリチウムイオン電池を製造し、現在および次世代のハイブリッド車や電気自動車を推進する BASF の顧客に提供します。これにより、BASF は、北米をはじめ、世界における電気自動車やハイブリッド車などのエレクトロモビリティの未来に貢献していきます。

新たな正極材料プラントの建設には、米国エネルギー省から 2,460 万ドルの助成金の拠出を含め、5,000 万ドル以上を投資しました。また、BASF は、アルゴンヌ国立研究所が特許を取得した、ニッケル・コバルト・マンガン(NCM)正極材料のライセンスを与えられたサプライヤーの 2 社のうちの 1 社です。NCM 正極材料は、ユニークな組成のリチウムとマンガン含有量の高い金属酸化物です。イリリアで製造される材料は、この高

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

度な NCM 製造技術を利用しており、自動車などの高級用途向けのリチウムイオン電池の製造に特に適しています。

イリリアの正極材料プラントは、4 階建て、敷地面積は 7 万平方フィート（約 6,500 平方メートル）で、最先端の製造技術を活用します。これに伴い、イリリアでは、約 25 件の新規雇用が創出される見込みです。イリリアでの操業については、BASF のバッテリー材料研究所（オハイオ州ビーチウッド）と、ドイツ本社（ルートヴィヒスハーフェン）がサポートを行います。

BASF の触媒事業本部のプレジデントであるフランク・ボージツヒは、次のように述べています。「商業規模の製造プラントの新設を、大変嬉しく思います。本製造プラントの新設は、BASF と米国エネルギー省およびオハイオ州との強力な提携関係のもとに、エネルギー密度と出力を高めた先進的なバッテリー材料の提供を目的とするものです。今後、エレクトロモビリティの持続可能性を高め、その普及を促進するためには、化学のイノベーションが必要不可欠であると考えます。私たちは、こうした発展を牽引するという BASF の役割について誇りに思っています」。BASF の「バッテリー材料」グローバル・ビジネスユニットのシニア・バイスプレジデントであるラルフ・マイクスナーは、次のように述べています。「世界をリードする化学会社である私たちは、世界中のバッテリー・メーカーに対する材料とソリューションのリーディング・サプライヤーとしての地位を確立することに、大きな可能性を見出しています。今回の製造設備の新設により、私たちの取り組みは重要な節目を迎えました」。

長期的なバッテリー材料戦略の一環として、BASF は引き続き、産業界と学界のパートナーと協力し、現在および次世代のリチウムイオン電池と、将来のバッテリー・システム向けに、材料と技術を開発していきます。（詳細については、[www.catalysts.basf.com/batterymaterials](http://www.catalysts.basf.com/batterymaterials) をご覧ください。）

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

### ■BASF の触媒事業本部について

BASF の触媒事業本部は、環境触媒とプロセス触媒の世界的なリーディング・サプライヤーです。同事業本部は、私たちが呼吸する大気の保護、生活を支える燃料の製造、先進のバッテリー材料などを含む多岐にわたる化学品やプラスチックの効率的な生産を支える技術開発で卓越した専門知識を提供します。BASF の業界をリードする研究開発プラットフォーム、技術開発への情熱、貴金属とベースメタルへの深い知識を活用することで、触媒事業本部は、独自のソリューションを開発し、顧客の成功をサポートしています。BASF の触媒事業本部についての詳細は、インターネットホームページ ([www.catalysts.basf.com](http://www.catalysts.basf.com)) をご覧ください。

### ■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は世界をリードする化学会社「The Chemical Company」です。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASF は科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、あらゆる産業のお客様を支援しています。BASF の製品とシステムソリューションは、資源の確保に貢献し、健康的で栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASF はこれらの活動を企業目標として「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を掲げています。2011 年の売上は約 735 億ユーロで、従業員数は約 11 万 1,000 人です。BASF の詳しい情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com) (英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com) (英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) (日本語) をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>